



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 A Z - C O M丸和ホールディングス株式会社  
コード番号 9090 URL <https://www.az-com-maruwa-hd.co.jp/>  
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 和佐見 勝  
問合せ先責任者 （役職名） 取締役専務執行役員 （氏名） 葛野 正直 T E L 048(991)1000  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	174,918	11.0	10,131	13.3	10,495	11.7	6,570	10.3
2025年3月期第3四半期	157,644	5.0	8,941	△22.7	9,399	△22.1	5,956	△19.9

（注）包括利益2026年3月期第3四半期 8,704百万円（39.3％） 2025年3月期第3四半期 6,249百万円（△25.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	48.79	46.80
2025年3月期第3四半期	44.20	41.08

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	159,466	64,701	38.8
2025年3月期	138,550	60,431	41.7

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 61,883百万円 2025年3月期 57,768百万円

（注）第2四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行った結果を、2025年3月期第3四半期及び2025年3月期に反映しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2026年3月期	—	16.00	—		
2026年3月期（予想）				16.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	220,000	5.6	11,900	8.6	12,000	3.2	7,300	0.3	54.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）第2四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行った結果を元に対前期増減率を算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社 社名 株式会社MOMO A

(注) 第2四半期連結会計期間より、株式会社MOMO Aを持分法の適用範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	137,984,520株	2025年3月期	137,984,520株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,301,275株	2025年3月期	3,318,314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	134,676,999株	2025年3月期3Q	134,769,230株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型E S O Pの信託財産として保有する当社株式を含めており、当該株式は2025年3月期3Qにおいては572,551株、2026年3月期3Qにおいては552,291株となっております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2026年2月5日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をライブ配信にて開催する予定です。  
当日使用する決算説明会資料は決算発表後、速やかに当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当第3四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当第3四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間末現在において、当社グループが判断したものであります。

### (1) 当第3四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや過去最大の訪日外国人を記録するなど、景気は緩やかな回復基調にある一方、新たに発生した地政学リスクや関税引き上げなどを背景とする世界経済の減速が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況となっております。

物流業界におきましては、国内における消費関連貨物は回復傾向で推移したものの、人件費をはじめとする各種コストの上昇傾向が継続するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、環境変化に対応すべく高収益企業づくりを目指した「中期経営計画2028」をスタートさせ、E C・常温物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各ドメインを中心に業容拡大に努めております。また、グループネットワーク機能を最大化する輸配送プラットフォームの強化、オペレーション標準化とD X実装による3 P L事業の省人化・省力化を実現し、お客様に選ばれる「3 P L & プラットフォームカンパニー」を目指しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高174,918百万円（前年同期比11.0%増）となり、後述するセグメント別の業績情報に加え、前年において発生した株式公開買付け関連費用の減少もあり、営業利益10,131百万円（同13.3%増）、経常利益10,495百万円（同11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,570百万円（同10.3%増）の増収増益となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	155,542	172,544	17,001	10.9%
セグメント利益	9,281	9,989	707	7.6%

新規物流センターの業務安定化を目的とした人件費等の一時費用や、既存物流センターの稼働率向上を目的とした統廃合に伴う一時費用等の影響がございました。一方で、セールや年末需要を背景とした物流センターの取扱物量や稼働車輛台数の増加に加え、全社的に推進する料金改定及び生産性向上等の取り組み成果が上回った結果、増収増益となりました。

なお、物流事業における当第3四半期連結会計期間の売上高の内訳は以下のとおりです。

物流事業の内訳	売上高	前年比	主な要因
ラストワンマイル事業	29,277	Δ3.0%	・ブラックフライデーセール等による増車 ・ネットスーパー等の一部事業譲渡に伴う減少
E C 常温輸配送事業	46,283	13.3%	・各種セール及び年末需要に伴う輸送数の増加 ・既存取引先との新たな輸配送サービスの拡大
E C 常温3 P L 事業	56,735	18.3%	・大手ネット通販会社向け物流センターの通期稼働 ・既存取引先における取扱物量の増加
低温食品3 P L 事業	19,937	9.2%	・スーパーマーケット向け物流センターの通期稼働 ・商品単価の上昇や年末需要に伴う取扱物量の増加
医薬・医療3 P L 事業	20,309	11.1%	・ドラッグストア向け物流センターの通期稼働 ・都心店舗を中心とした取扱物量の増加

(その他)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	2,102	2,374	271	12.9%
セグメント利益	294	391	96	32.8%

ファイブホールディングス(株)における情報システム事業及び(株)アズコムデータセキュリティのB P O（ビジネスプロセス・アウトソーシング）に係る新規案件の受注が順調に推移した結果、増収増益となりました。

(2) 当第3四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は159,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,915百万円増加いたしました。

流動資産は61,492百万円となり、5,080百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が3,864百万円、未収消費税が増加したことによりその他が2,206百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が11,152百万円減少したことであります。

固定資産合計は97,973百万円となり、25,996百万円増加いたしました。この主な要因は、建物及び構築物(純額)が20,854百万円、機械装置及び運搬具(純額)が3,050百万円、投資有価証券が3,484百万円、投資その他の資産が2,446百万円、それぞれ増加した一方で、建設仮勘定が5,264百万円減少したことであります。

負債合計は94,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,646百万円増加いたしました。流動負債は37,246百万円となり、13,435百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2,440百万円、短期借入金が623百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,672百万円、未払金及び未払消費税等の増加によりその他が2,936百万円、それぞれ増加した一方で、2025年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の買入消却により1年内償還予定の転換社債が20,146百万円減少したことであります。また、固定負債は57,518百万円となり、30,081百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金が6,539百万円、2030年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行により転換社債が22,000百万円、それぞれ増加したことであります。

純資産合計は64,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,269百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が2,242百万円、その他有価証券評価差額金が1,815百万円、それぞれ増加したことであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,395	30,243
受取手形及び売掛金	22,952	26,817
貯蔵品	90	91
その他	2,137	4,343
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	66,573	61,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,314	33,169
機械装置及び運搬具（純額）	3,797	6,847
土地	15,020	15,124
建設仮勘定	7,389	2,125
その他（純額）	3,671	5,433
有形固定資産合計	42,193	62,699
無形固定資産		
のれん	3,973	3,891
その他	7,070	6,716
無形固定資産合計	11,043	10,608
投資その他の資産		
投資有価証券	10,935	14,419
その他	7,867	10,314
貸倒引当金	△62	△68
投資その他の資産合計	18,740	24,665
固定資産合計	71,977	97,973
資産合計	138,550	159,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,977	15,418
短期借入金	11	635
1年内償還予定の転換社債	20,146	—
1年内返済予定の長期借入金	4,984	6,657
未払法人税等	2,034	1,857
賞与引当金	1,069	284
その他	9,457	12,393
流動負債合計	50,682	37,246
固定負債		
社債	15	15
転換社債	—	22,000
長期借入金	17,315	23,854
退職給付に係る負債	1,477	1,535
資産除去債務	1,497	1,691
役員株式給付引当金	47	43
従業員株式給付引当金	169	162
役員退職慰労引当金	70	78
その他	6,843	8,138
固定負債合計	27,436	57,518
負債合計	78,119	94,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,117	9,117
資本剰余金	8,801	8,803
利益剰余金	42,608	44,851
自己株式	△5,987	△5,980
株主資本合計	54,540	56,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,608	5,424
退職給付に係る調整累計額	△381	△333
その他の包括利益累計額合計	3,227	5,090
非支配株主持分	2,663	2,818
純資産合計	60,431	64,701
負債純資産合計	138,550	159,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	157,644	174,918
売上原価	140,817	157,166
売上総利益	16,827	17,751
販売費及び一般管理費	7,885	7,619
営業利益	8,941	10,131
営業外収益		
受取利息	168	118
受取配当金	236	295
持分法による投資利益	—	20
固定資産売却益	38	87
その他	154	210
営業外収益合計	598	732
営業外費用		
支払利息	89	193
社債発行費	—	106
シンジケートローン手数料	7	7
その他	43	62
営業外費用合計	140	369
経常利益	9,399	10,495
特別利益		
投資有価証券売却益	314	—
持分変動利益	—	77
特別利益合計	314	77
特別損失		
出資金評価損	15	—
特別損失合計	15	—
税金等調整前四半期純利益	9,697	10,572
法人税等	3,453	3,735
四半期純利益	6,244	6,836
非支配株主に帰属する四半期純利益	287	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,956	6,570



(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,244	6,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	1,820
退職給付に係る調整額	30	47
その他の包括利益合計	5	1,867
四半期包括利益	6,249	8,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,961	8,433
非支配株主に係る四半期包括利益	287	270

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,169百万円	2,887百万円
のれん償却額	314百万円	382百万円

(注) 前第3四半期連結累計期間に係る数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	155,542	2,102	157,644	—	157,644
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	318	356	△356	—
計	155,580	2,420	158,000	△356	157,644
セグメント利益	9,281	294	9,576	△634	8,941

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業、不動産賃貸事業及び情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメントに帰属しない持株会社に係る損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	172,544	2,374	174,918	—	174,918
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	353	409	△409	—
計	172,600	2,727	175,327	△409	174,918
セグメント利益	9,989	391	10,380	△248	10,131

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業、不動産賃貸事業及び情報システム事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメントに帰属しない持株会社に係る損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。